

古紙回収して古本貸す「銀行」

は町商工会加盟店舗で使える地域通貨「ぶなっこ券」を発行しており、本や人の交流が地域の活性化につながることも視野に入れている。

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本本社

2010年(平成22年)

5月29日(土)

毎日新聞



MAINICHI

5年3月8日 第3種郵便物認可 ©毎日新聞社 2010 (日刊)

世界自然遺産・白神山地でブナの森の復元や再生を進めるNPO法人「白神山地を守る会」(青森市)とスーパー「マエダストア鱈ヶ沢店」(鱈ヶ沢町)が29日から、古紙を回収して古本を貸す「古紙・古本銀行」を開く。本返却時には利用者に自宅で眠る本も「利息」として提供してもらおうほか、古紙売却益で間伐材活用を探る実験も進める計画で、「地元の人とのコミュニケーションに花が咲けば、素晴らしい『利息』が生まれる」と期待が高まっている。

【矢澤秀範】

スーパー店内に置くの工場へ搬送する費用に「銀行」に、県補助金で使う。

古紙を受け入れる「エコステーション」を設け、古紙などを持参した住民に漫画本や児童書、文庫本などの古本を最大5冊、無料で貸し出す。利用者「利息」として1週間以内に古本1冊を加えて返却する仕組み。古紙回収で得た収益は、守る会が間伐材を活用する手法を検討する経費に充てる。当面は、ペレットストーブの燃料となるペレット材への加工を手掛ける五所川原市内

地元との意思疎通で「利息」も

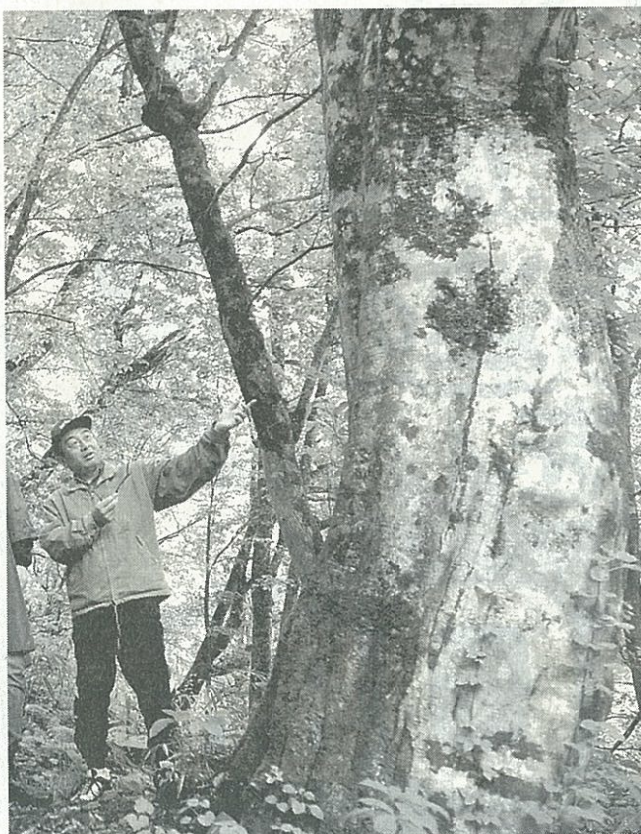
いのが現状だ。

一方、古本銀行には、自然体験学校「白神自然学校一ツ森校」(鱈ヶ沢町)の「ブナの森のオーナー」が全国から届けた古本約1800冊が並ぶ。同校のブナ植樹祭な

守る会の永井雄人代表理事は「古本銀行やボランティアを通じて、白神周辺の町村に愛着を感じてもらいたい」と期待を話している。

白神山地 鱈ヶ沢のスーパーできょうから

白神山地 鱈ヶ沢のスーパーできょうから



「古紙・古本銀行」の取り組みでは、くむことを目指すブナの森。左は白神山地を守る会の永井代表理事